

SDGs と 企業

SDGsとは国連加盟193カ国が2016年から30年までの15年間で達成することを約束し合った「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」。貧困・飢餓、教育・福祉、健康・衛生、環境・エネルギーなど多岐にわたる社会課題の解決に向け、17の目標とそれらを達成するための169のターゲットで構成されている。

SDGsが採択されたのは2015年だが、日本でも最近になって政府・自治体、NGO/NPOなど各セクターによる取り組みが活発になってきた。経済界でも多くの企業が注目し始めている。事業方針の中にとり入れる動きもある。企業にとってSDGsのもつ意味とは。新たな市場を生み出し、企業に変革とイノベーションをもたらすことになるのだろうか。



世界を変えるための 17 の目標

- ① 貧困をなくそう
- ② 飢餓をゼロに
- ③ すべての人に健康と福祉を
- ④ 質の高い教育をみんなに
- ⑤ ジェンダー平等を実現しよう
- ⑥ 安全な水とトイレを世界中に
- ⑦ エネルギーをみんなに そしてクリーンに
- ⑧ 働きがいも 経済成長も
- ⑨ 産業と技術革新の基盤をつくろう
- ⑩ 人や国の不平等をなくそう
- ⑪ 住み続けられるまちづくりを
- ⑫ つくる責任 つかう責任
- ⑬ 気候変動に具体的な対策を
- ⑭ 海の豊かさを守ろう
- ⑮ 陸の豊かさも守ろう
- ⑯ 平和と公正をすべての人に
- ⑰ パートナーシップで目標を達成しよう

